



取締役・草津工事管理本部長
田坪聖二郎(34歳)

世界で名を知られるHONGOに

出発式で檄「全社員が挑戦し、進化しよう」



タッフだった。「現場代理人制度」の導入を図り、建設現場の働き方改革を推し進めようとする本郷工業と自分の会社、大きな亀裂が生じていた。「現場代理人制度の下、上を目指して思い切り働きたい」。その一方で、自分の会社仲間への義理もあった。「本郷工業の現場に残れないなら、もう建設の仕事は辞めるしかない」。しかし、結婚したばかりだった。悩み葛藤した結果、元同僚たちが去った本郷工業の現場に立つことを決めた。「俺一人でも現場は守る」。工期を割りたくない一心でがむしゃらに働いた。それが、「本郷工業の田坪聖二郎」のスタートだった。

夢 —と揮ごうされた書が、本郷工業本社応接室に掲げられていた。その前で、田坪聖二郎はグッと両こぶしを握りしめた。「世界に名前を知られるような会社にしませぬ。組織を巨大にしたのではなく、働いている社員、関わっている人たちがみな幸せで、『いい会社があるんだね』と、世界の人がびとに認められる組織を、本郷工業グループをつくりたい」。言葉を選びながら、「夢」の姿を明確に語った。

18年前、高校最初の夏休み。炎天下、真っ黒に日焼けした田坪少年は、アルバイトとして本郷工業の建設現場で雑用をしていた。その横では春に就職して働いていた中学時代の同級生が、テキパキと重要な仕事をこなしていた。輝いて見えた。「俺も早くあんな風に働きたい」。その意思を父に伝えた。「お前が決めたなら」。日頃、「大学に行け」が口癖の父からの意外な一

言だった。全日制から定時制の高校に転入し、日中は建設現場に出た。

自分のものは自分の力で

中学時代、有名な大企業の社員だった父が会社を辞め独立した後、生活は変わった。「それまで何の苦労もない暮らしだった。父の独立後、家計が楽でないと感じていた」。新聞配達を始めた。毎朝4時前に起きて、

2人の入社 進化のきっかけに

まだ人が少ない会社では、現場を進めていくのが精いっぱいだった。「現場代理人の本来の仕事ができてなくて。人が必要だった」。新しい人材が来ると一緒に飯を食い、飲み、「夢」を語り、自分を少し大きくみせた。会社を少し良くみせた。「いい会社だ」と思ってた。いつか「どんな人でもよかった。うちの会社を好きになってもいいから」。

そして、安達健太(現場代理人 会長)、古川翼が入社してきて、建設現場未経験の二人を率いて、田んぼから50区画の宅地をつくる造成工事を半年で完了した。「この二人がいたからこそできた。二人のおかげで、現場をこなすことに手いっぱいだった私が、現場代理人による一貫体制づくりに着手できる余裕ができた」と振り返った。

進化の先に広がる「夢」

入社から7年半。当時、田坪を含め数人しかいなかった現場代理人は今年、13人になった。18年前、「自分のものは自分で稼いで手に入れる」と、一心不乱に働き始めた少年は、本郷工業のナンバーワンになった。今年10月の出発式で、全社員を前に立ち、檄を飛ばした。「進歩ではなく進化の一年にしよう」。

プロフィール

1983年1月28日生
出身地 大阪府枚方市
家族 妻・恵美子さん、長男・大聖くん(4)、次男・功聖くん(3)の4人家族。
社歴 2010年4月 本郷工業に正社員として入社。現場代理人制度の構築に尽力し、現場代理人、マネージャーとして活躍。2014年10月から現場代理人から現職に昇進し、社長の右腕として会社の経営をけん引する。

毎年10月の出発式

本郷工業では期首となる毎年10月、全社挙げての「出発式」を開催する。新年度の事業目標を掲げ、全現場代理人が個人目標を発表、会社の事業目標につなげる。今年10月、名実ともに経営の一角を担うことになった田坪は、全社員の前で今期の目標、事業方針を発表し、みなを士気を高めた。

筆者紹介:住田崇(すみだ たかし)
元京都新聞記者。
民泊管理運営代行・WEB制作会社(株)スタートレックKYOTO代表取締役。京都市在住。



200部を配った。五歳上の姉はバイトで稼いだお金で、田坪の制服、靴を買ってくれた。ラグビー名門校で活躍した兄は私立大学に入った。優しい姉、自慢の兄だった。「俺は...」自問した。「二日も早く働いて、自分のものは自分の力で稼いで手に入れる」。15歳の決意だった。「自分の力で何とかする」という田坪の精神力は、この頃に培われた。

日々の仕事をこなすだけではない。挑戦しなければ進化はない。進化の先に、「夢」があることを信じている。



家族からのメッセージ

夫へ
出会って17年。無事結婚7周年です。シアワセ溢れる日々は、いつもポジティブで、みんなを笑わせてくれるあなたのおかげです。グダグダの夕食に文句は言いながらも「めっちゃ美味しい」と食べてくれますね。私の失敗は次の日には忘れてくれる。私の事をちゃんと考えてくれていて。17年前よりも、私はあなたをもっと大好きです。だから、もっと優しくしてね(笑)シアワセ倍増!末永く仲良く頑張りますよ!

妻 滝本恵美子より
田坪聖二郎より



俺一人でも現場は守る
本郷工業に入社する前、大きな岐路に立った。26歳の田坪は本郷工業のパートナー会社のス



The key person for Seijiro Tatsumi 安達健太(32) 現場代理人協会会長

私の現場の進め方は聖二郎くんのやり方。大きな影響を受けています。私にとって一番の相談相手です。私も今、★★の現場代理人になって、人を育てる立場ですが、本郷工業の現場代理人としてあるべき姿を人に教えるのは本当に難しい。でも、彼はそれができている。運動神経悪いけど。いまだに、聖二郎くんには、おんぶに抱っこで、いつも助けてもらっている。「感謝」の言葉ですか?言葉では難しいから、言いませんけどね。

NEXT PRESS
ぜひ、次号をお楽しみに!

HONGO PRESSとは
「人こそ会社の財産、文化、未来」
これは弊社の信念です。縁あって弊社で働いている社員ひとり一人の姿、人となりみな様に紹介することは、弊社の姿をみな様に知っていただくことと同じです。その役割をこのプレスは担っています。

HONGO No.17 PRESS

2017.12.1発行

Renewable Energy



Construction



Smile group



Special
Features of this
Month:
Seijiro Tatubo



HONGO NEWS LETTER

中学生職場体験

～チャレンジワーク～

中学生徒が事業所などの職場で働くことを通じて、職場や実際の仕事について体験したり、働く人々と接したりする学習活動である【中学生職場体験】。本郷工業は働くことのすばらしさや大変さを体験してもらうべく、3名の生徒さんに11月6日から10日の5日間 職業体験にきていただきました。初日には緊張と不安でいっぱいであったらう3人もだんだん打ち解けてきてくれ、最終日になる頃には、たくさんの笑顔も見せてくれました。本郷工業にとっても勉強・教えることの大切さと心地よい緊張感を与えてくれた5日間でした。職場体験してくれた3名の生徒をはじめ、関係者の皆様ありがとうございました。

ベトナム文化研修

いってきました！！

日本では寒波が訪れた11月中頃、本郷工業従業員一同でベトナム文化研修旅行へ行ってきました！！共に働いているベトナム実習生の故郷である、ベトナムの歴史や生活習慣を体験し、多くのことを学ばせていただきました。先月から一時帰国・帰国しているベトナム実習1期生の3名と再会もでき、楽しくもあり実りのある文化研修旅行となり、実習生と過ごす時間が今以上に有意義なることを感じられ、従業員一同感謝の気持ちでいっぱいです。文化研修期間中はご連絡など、ご不便おかけしましたことを、心よりお詫びいたします。

新型 太陽光追尾式架台システム 発売

(特許出願中)

弊社ホームページ
<http://www.hongou-i.jp>
にて詳細掲載中！！
電話・メールでのお問い合わせもお待ちしております。

「本郷工業ロゴマーク」
「GRI/SUN」
商標登録取得
させていただきました！！



有限会社 本郷工業
草津工事管理本部
〒520-0058
滋賀県草津市野路東6-3-4 プレジオ3 1F
TEL:077-566-8200 FAX:077-566-2234
MAIL: hongo@pop.biwako.ne.jp
HP: www.hongou-i.jp

◆近江八幡営業所
〒523-0893
滋賀県近江八幡市桜宮町206-23 プレジオ5 5F
TEL:0748-53-2117 FAX:0748-43-2118